



東本郷

元気なあいさつ 明るい笑顔あふれる チーム東本郷小

学校だより

令和2年10月1日発行

川口市立東本郷小学校

TEL: 284-8076

つなごう！あいさつバトン

校長 井上 千春



澄み渡る空気が心地よく、さわやかな風が本格的な秋の訪れを感じさせてくれます。秋は、勉強にスポーツに読書にと最適な季節です。この季節を生かして何かに取り組みたいものです。

さて、私は毎朝正門で子供たちの登校を迎え、あいさつを交わしています。本校では、毎月10日に子供たちが学年ごとに正門や裏門に立ってあいさつ運動をしています。

今年は、「もっとあいさついっぱい学校にしよう！」ということで、児童会が主体となって新たな取組が始まりました。それは、「あいさつバトン」と称して、毎週月曜日、登校した児童からペア学年であいさつを行っていくというものです。9月28日から始まった取組で、初めは1年生と6年生で行ってくれました。朝から子供たちのあいさつが校内に広がっていき、とても心地よさを感じると同時に、月曜日の朝から子供たちに元気をもらい清々しい一日の始まりとなりました。児童会の子供たちが考えた「あいさつバトン」の取組が、これからも東本郷小学校をさらにあいさついっぱいの学校にしていってくれることを期待しています。

先日、新聞の投書欄にあいさつについて中学生の記事が掲載されていました。

「夏休みに父と山に登った。私は山ですれ違う人に『こんにちは』とあいさつするのが好きだけど、今年は新型コロナウイルスのために自然にみんな声は出さず、相手の目を見てうなづくように小さく頭を下げていた。『こんにちは』のない山登りは寂しいと思っていたけど、目を見つめてするあいさつにも、声を出した時と違う温かさがあるとわかった。それを気付かせてくれた山を、より好きになった。これからは声を出す出さないにかかわらず、相手の目を見てあいさつしようと思った。(9月29日 読売新聞)」

あいさつには、相手を敬って歓迎する気持ちも込められています。あいさつはおもてなしでもあると感じます。これからもあいさつの大切さを指導し、明るく元気なあいさついっぱいの学校となるように取り組んでまいります。

新しい生活様式を取り入れた学校生活も半年が過ぎました。保護者、地域の皆様にはこれまでの本校の教育活動に対しご理解・ご協力をいただき深く感謝いたします。行事の少ない中ではありますが、残り半年も子供たちが大きく成長し、達成感を味わえるように、日々の学習を始め可能な限りで体験的な活動の取組を一層充実してまいります。今後もご支援の程、どうぞよろしくお願いたします。

